

ゆたかかな労働と生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 509

| | | |
|----------------|---------------------|------------------|
| あさやけ作業所 | 小平市小川町 2-1159 番地 | TEL 042-345-4575 |
| あさやけ第二作業所 | 小平市小川町 2-1159 番地 | TEL 042-345-1564 |
| サングリーン | 小平市小川町 1-943 番地 | TEL 042-345-1585 |
| あさやけ鷹の台作業所 | 小平市小川町 1-411 番地 | TEL 042-346-2167 |
| 共同ホームつくしんぼ | 小平市小川町 1-944-30 番地 | TEL 042-342-7550 |
| 共同ホームこげら | 小平市上水南町 2-21-17 番地 | TEL 042-325-8716 |
| 共同ホームサンライズ | 小平市小川東町 5-2-11 番地 | TEL 042-346-0472 |
| あさやけ喜平橋食堂 | 小平市上水南町 2-23-21-5 | TEL 042-312-0793 |
| 地域生活支援センターあさやけ | 小平市小川東町 4-2-1 番地 | TEL 042-345-1741 |
| 共同ホーム一歩 | 小平市花小金井 7-2-24 番地 | TEL 042-349-0305 |
| あさやけ風の作業所 | 小平市中島町 3-8 番地 | TEL 042-349-2366 |
| 共同ホームはやぶさ | 小平市小川町 1-497-13 番地 | TEL 042-313-6269 |
| 共同ホームさらさ | 小平市小川東町 5-2-12-1 番地 | TEL 042-313-2217 |



大会二日目は、陸前高田市の黒崎神社や黒崎仙峡などを中心に市内観光を楽しみました。

陸前高田市を観光

あさやけ作業所

きょうされん全国大会の開催は三年ぶりにオンラインで開催となり、東日本大震災から十一年目を迎える陸前高田市で行われました。

一日目、きょうされん四〇周年記念事業として制作された「星に語りて」を鑑賞しました。十一年前の東日本大震災が起きた当時、私は中学生でした。そのため、障害者は被災地でどう過ごしているのか、そんなことは考えもしませんでした。映画の中で「障害者が消えた」という言葉を聞いたとき、障害者や社会的弱者と呼ばれる方々は避難所に行けず家に残ることを選択せざるを得ない現状を突きつけられた気分になりました。支援員として働く中で、「有事のとき作業所のメンバーはどうなってしまうのか。」と考えたことがあります。しかし、自分が支援員として何をすれば良いかもわからず、考えることすら恐ろしく、無責任ですが有事が起きないことを祈ることしかできませんでした。最悪な状況は誰でも考えたくはないことです。しかし、有事に備えて今考えることが私達の責務だと感じました。福祉関係者だけでなく多くの人がこの映画をきっかけに災害や障害者福祉について考えてほしいと強く思い

ます。

二日目は表現活動の分科会に参加しました。

陸前高田市は「ノーマライゼーション」という言葉のいらな

いまちづくり」を復興、まちづくりの基本理念に掲げています。陸前高田市は共生社会の先進国でもあるシンガポールに行政視察を行い、これをヒントに市内の高校生や住民、障害者、シンガポールを結びつけ、アートを通して情報発信する取り組みを行っています。

きょうされん全国大会 in 東北・岩手に参加して

あさやけ風の作業所
とうたす班 藤沢 佳帆

私は今年度、アートフェスティバルの実行委員を担当しました。しかし、外部から来るお客様が少なく、どのようにアプローチすれば良いのかをずっと考えていました。今回、陸前高田市の活動報告を聞き、SDGs

が注目されている今こそ、市と協力するなど広い視野で繋がりを考えていくことが大切であると学びました。枠組みにとらわれず関係機関を広げ、一歩踏み出すことが福祉と社会をつなげることに繋がります。また、その中でいかにメンバーの力を最大限引き出せるかをこれからの支援に活かしていきたいです。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



コロナ禍での新生活

F さん
(あさやけ第二作業所)



昨年、以前通所していたあさやけ第二作業所にもどりメンバーになりました。二〇二〇年の九月にコロナ禍の生活で体調を崩し三か月入院していました。その後無事退院しましたが、それまで十二年間勤めていたスーパールの仕事は続けられず退職することになり二〇二一年一月頃から作業所にまた通うことになりました。

前から知っている職員との面談を経て週二日から通い始めました。メンバーも知っている人がいたので作業に入りやすくとても助かりましたが、はじめは遅刻や欠席が多くまともに通えませんでした。その後少しずつ出勤日数が増え独り暮らしを考えるようになり昨年十一月に親元を離れアパートで暮らし始めました。

今、作業所ではビーズのアクセサリーにはまっていて時間を忘れ続けてしまい職員に声をかけられることもありま

す。いろいろ研究していいアクセサリーが出来るとうれしいです。今後の目標は特にないのですが、今の日常生活を地道に続けていこうと思っています。

今回の大会では、震災を振り返りながら、震災時の障がい者の皆さんの様子や陸前高田市で行われている表現活動（障がい者アート）について学ぶ機会となりました。そして、自然災害の恐ろしさと、いつ起こるかかわからない災害に私たちも常に備えておかなければいけないことを強く感じました。また、復興へのまちづくりの中で、多くの人の目にとまる公共の場に障がい者アート（モザイクタイルアート）を取り入れるといった市の取り組みが非常に心に残りました。2日間で学んだことをこれから実践できるようにしていきたいです。

あさやけ第二作業所 田畑藍子

きょうされん第45回全国大会 in 東北・岩手に参加し、たくさん学んできました

きょうされん第45回全国大会が9月30日～10月1日の2日間、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた陸前高田市で開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大で全国大会を対面で開催するは3年ぶりでしたが、全国から300人の利用者を含む1,400人の参加がありました。あさやけからは、利用者3名・職員7名の10名が参加し、全体会や映画から東日本大震災を振り返る特別分科会、二日目の分科会、観光などを通して多くを学んできました。

雨女認定を受けている私が同行していたのに、なぜか秋晴れまくった3日間でした。きょうされん全国大会は初参加です。不安80期待20といった気持ちでしたが蓋を開けてみると一緒に行かせていただいた皆さんのおかげもあって楽しく過ごすことができました。

車窓から陸前高田の真新しい建物群を見るにつけ、すっかり流されてしまった町を想像し胸が締め付けられる思いもあったのですが、その一方で瓦礫の山からここまで再建する人間の底力に励まされる思いもしたのです。1日目に「福島は語る」というドキュメンタリー映画を観ました。原発事故によって人生を翻弄されてしまった人々の生の声に終始涙が止まらず、マスクの中は鼻水だらけとなっていました。何も終わっていない福島を、我が事として考えなくてはいけないと強く感じました。

地域生活支援センター 川口 佳奈

全国大会番外編

仲間ふたりと小平から陸前高田へ

浅浦 克哉（あさやけ作業所職員）

全国大会は初の参加でしたが、共同ホームこげらの仲間ふたりを連れての参加となりました。大会当日、今村さんは会場に留まる事ができず、私と一緒に陸前高田市内の観光へ行きました。普段の作業所場面では、物を選ぶことがやや難しく「どっちがいい？」という質問を嫌がる今村さんでしたが、喫茶店へ入ると数多くのメニューの中からパニライスを選び、道の駅では自ら「かもめの玉子」を手取る姿をみせてくれました。

一方の坂田さんは、初日は全国大会の催しに参加しましたが、2日目は今村さんと私の3人での観光をしました。疲労からか、車内ではやや浮かない表情の坂田さんでしたが、道中の気仙大工伝承館でお茶菓子を食べると、にっこり笑顔の表情に。お店の方から「美味しいですか？」と聞かれると「おいしくないです。」との返事。ややヒヤッとなりましたが、後々聞き直すと「おいしかったですよ」と笑顔で答えてくれました。

今回の全国大会では、私は分科会やオープニングセレモニーなどに参加することはできませんでしたが、普段関わっている所員の違った一面や、持ちうる力を垣間見ることができ、実践の場としても、とても学びのある機会となりました。



奇跡の一本松

きょうされん全国大会の参加は2度目になる。前回は震災後2年半後の東北・福島の参加であった。ここから「つたえ・つなぎ・はじめる」今回の東北・いわては、ここから「つたえ・つなぎ・あしたを生きる」震災からの復興は、これからも行われていく中、全国の参加者が3年ぶりに感染対策し集うことになった。

分科会

・働く「あなたがいないと困るんだよ」そんな仕事づくりませんか。

サブテーマ デザインやブランディングと商品・仕事

アートやものづくりを行う作業所の実践であった。日中の支援を考えながら、新しい方向性と利用者の個性が生み出せる作業支援も必要と感じた。独自の作業と並行して新しいものを取り組む事への挑戦により、利用者支援の幅も増えると思い、日々考える事が必要である。

あさやけ鷹の台作業所 金子 新



表現活動分科会、テーマ「人間らしく生きること 障がいのある人の表現活動」

夏の一步

通所先が夏休みの時は、家には帰宅しないで1日ホームで過ごすことになります。日中の過ごし方はヘルパーさんとお出かけしたり、のんびりお昼寝をしたり、普段自分たちが見る事のない職員の昼の動きを観察したり、職員と一緒に散歩しながら買い物をしたりして過ごしました。人数が少ないからいつもよりご飯のリクエストが通りやすく、連休だからこそできるゆっくり自分の時間を楽しく暮らすことができました。

共同ホーム一步の暮らしから**アルバイトさんの声**

○八橋祥吾さん(東京学芸大学)

一步でのアルバイトは初めてづくしの経験でした。障害をもった方と接するのも初めて。何より介護などの福祉の現場に身を置くのも初めてでした。最初のうちは入浴やトイレ、就寝・起床の介助などの仕事を覚えるのに精一杯であり余裕がありませんでしたが、最近では利用者の方と時事問題について話したり、一緒にテレビで野球を見たり、といった時間も増えてきました。勿論、前者の仕事も重要ではありますが、アルバイトの場面では、むしろ後者の関わり方のほうが利用者の方の笑顔や楽しそうな姿が多く見られたように思います。ある意味で、それらはやらなくてもいいこととも言えますが、こういった関わり方をしたからこそ、“介助する側とされる側”という関係を越えて、利用者の方々とより距離を縮めることができたのではないかと感じています。

○尾畑さくらさん(武蔵野美術大学)

一步で働く中で人同士だからこそその緩やかさや柔軟さを感じています。働く側にも完璧であることを求めず、その場その場でお互いの状況を見て対応して下さるため、落ち着いた気持ちで働けております。利用者さんや職員さんとの沢山のコミュニケーションは本当に助けられますし、学ぶことも多いです。私は人と関わることを一方的に怖がり避けがちだったのですが、ただ隣にいることも含めた直接関わる時間に、お互いが良い意味で巻き込み合うような一方的ではない対等な関係の可能性があるのだと気づかされました。一步は妄想に浸りがちな…私にとって、もっと複雑で豊かな現実を確認させてくれる場所です。なにより、豊かで賑やかな利用者さんと職員さんの時間は私にとってとても大切です。

修繕工事

ホームができて20年余り、あっちこっち不具合が出てきています。窓ガラスは、ひびが入っていても問題はないのだそうですが、今回はめ込み式の窓3カ所をやっと取替えることが出来ました。既製のガラスのように行かず時間も費用もかかりました。5月には、浴室用のリフトも故障し、経年劣化で買い替えとなりました。今度は、どの番？

冬の新作紹介

あさやけ鷹の台作業所

○手織りマフラー レギュラー

夏が終わり少しずつ寒さを感じるようになってきました。鷹の台作業所では冬に向けたマフラーの織りを夏から始めており、少しずつ出来上がってきました。今までとは少しだけ違う、たて糸を工夫したデザインに挑戦しました。たて糸の色を途中で変えたことでよこ糸との組み合わせ方が面白いデザインになっていると思います。

糸を植物染料で染めるところから始まり、様々な工程を経てマフラーが出来上がります。それぞれのペースでその人にしか作れない1点物のマフラーです。

軽く巻きたい方には130cmサイズのショートマフラーもあります。

手織りマフラーレギュラー 価格：5000円

手織りマフラーショート 価格：3500円

**○織りねこブローチ 織りいぬブローチ**

織りねこブローチに新しい仲間が増えました。織りいぬブローチです。少し顔を細く、耳を長くしました。以前からいぬバージョンもやりたいとの希望がありついに商品化しました。「織りいぬブローチどうですか？」と聞くと「いいんじゃない」とのこと。いぬ好きの方ぜひいかがですか。

織りねこ、織りいぬブローチ 価格：600円



カフェの新メニュー ブルーベリーミルク

小平産のブルーベリーを使用した、喜平橋食堂のおすすめ甘味をご紹介します。

ブルーベリーの紫とミルクの白のグラデーションがとってもきれい。

インスタ・ツイッターもぜひご覧ください。

ブルーベリージャム



1個 700円

小平産の大粒ブルーベリーがゴロゴロ入ったとても美味しいジャム



あさやけ喜平橋食堂からのお知らせ

10/17（月）より、あさやけ喜平橋食堂の店頭でお弁当の販売が始まります。

お渡し時間は11:30～14:00までとなります。

店頭価格は500円。セットドリンク（ホット・アイスコーヒー）+150円。

その他のドリンクは+200円となります。ご来店お待ちしております。

おみやげにブルーベリージャムをどうぞ！！

問合せ先／あさやけ喜平橋食堂 小平市上水南町2-23-21-5

Tel: 042-312-0793 FAX: 042-312-0794

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願ひします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

9月の廃品回収の回収量は12,810kgでした。内訳は新聞8,560kg、雑誌・ダンボール4,250kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて170,540円でした

次回は11月19日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。